

夏の御文

ゲノオフミ

法要

日時

6月24日(月)

午後1時30分

～3時30分

講題

「御文をいただく」

ご講師

山名彰英師(因超寺)

ご講師からのメッセージ

『御文』は、本願寺第8代蓮如(れんにょ)上人(1415-1499)が浄土真宗の教えについて平易な文章で書かれたお手紙であり、これを各地に送ることで布教を行なっておられました。

そのお手紙を蓮如上人の孫である円如(えんにょ)上人(1491-1521)が多数の『御文』の中から特に重要な85通を選定され、その中から80通が5冊の本にまとめた『五帖御文』、残りの5通は『夏の御文』4通と『御俗姓(ごぞくしょう)』1通です。

夏の御文をいただいておりますと、度々『安心』という言葉が出てまいります。この「安心」という言葉を日常的によく使う意味は「心配事がない、気持ちが安定した状態」となり、一般的には「あんしん」と読みますが、仏教ではこれを「あんじん」と読みます。『安心』の本来の意味は、「仏法によって揺るぎない、何ものにも侵されない心の安定を得ること、その境地」とあり浄土真宗においては、阿弥陀仏の本願によって必ず極楽往生するという確信を得ることを安心決定(あんじんけつじょう)とって大事にしています。

天満別院で毎朝拝読されている御文ですが、その意味合いを皆様とご一緒にいただけたらと思います。